

2020年2月13日

「北海道内7空港特定運営事業等」に対するプロジェクトファイナンスへの投資 ～国内最大の空港コンセッション事業への資金供給を通じた地域経済活性化への貢献～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、北海道エアポート株式会社¹が行う国内最大の空港コンセッション事業²に対するプロジェクトファイナンスに約 41 億円の投資を行いましたので、お知らせいたします。

本件プロジェクトである「北海道内7空港特定運営事業等」は、従来、別々の主体により運営されていた北海道内7空港(新千歳空港、稚内空港、釧路空港、函館空港、旭川空港、帯広空港、女満別空港)の空港運営を一体的に実施する事業です。各空港の所在地の特性や観光客需要を踏まえて、空港ごとに誘致路線を戦略的に分担することで、さらなるエアライン誘致と旅客数増加を推進します。

今般コンセッションにより、効率的な経営を実現し、北海道における基幹交通インフラとしての役割の最大限発揮と、北海道の地域経済活性化への貢献が期待されます。

【本件プロジェクト概要】

| | |
|------|--|
| 事業名 | 北海道内7空港特定運営事業等 |
| 事業者 | 北海道エアポート株式会社 |
| 事業内容 | 北海道内7空港(新千歳空港、稚内空港、釧路空港、函館空港、旭川空港、帯広空港、女満別空港)の空港施設、ターミナルビル等の一体運営 |
| 事業期間 | 2049年10月30日まで(30年間) |

【空港所在地】



写真提供元: 北海道エアポート株式会社

【新千歳空港】



写真提供元: 北海道エアポート株式会社

¹ 北海道エアポート株式会社は、北海道空港を代表企業として 17 社が出資し、2019 年8月に設立された特別目的会社。

² コンセッションとは、高速道路や空港、上下水道など、料金徴収を伴う公共施設などの所有権を公的機関に残したまま、施設の運営権を民間事業者を設定すること。

当社は、日本全国の約 1,000 万名の保険契約者からお預かりした約 36 兆円の資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、「QOL向上」、「地方創生・地域活性化」、「気候変動問題の解決」を重点テーマとして ESG 投資を推進しており、本プロジェクトへの資金供給のほか、これまでも地方創生・地域活性化に積極的に取り組んでいます。

引き続き運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

【主な地方創生・地域活性化に向けた取組み】

